

1 マナーアップ通信

(1) 蔵王高校<ゴミ拾いと朝の挨拶運動>

本校では部活動が中心となって、地域の老人ホームや福祉施設、あるいは蔵王町の行事等にボランティアとして参加しています。外部の方々と活動する際には、高校生としてのあるべき姿が問われることになり、生徒一人ひとりの日々の取組が映し出されます。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年と同じようなマナーアップの取組を行うことはできませんが、それでも各学年によるゴミ拾い活動と、朝の挨拶運動を行い、意識を高めようと努力しています。文化祭の日にはPTA合同の朝の挨拶運動も行いました。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://zao-h.myswan.ed.jp/>

(2) 名取北高校<地域に愛され 地域に育てられる名取北高校>

名取北高校のマナーアップ運動には、毎月各クラスの生徒が協力して行う交通安全運動があり、登校時間に本校の生徒をはじめ通行する人全員に交通安全を呼びかけています。PTA 役員の方と合同で行ったり、警察に御協力をいただいたりしながら、地域のためにマナーアップに努めています。

また、クラスごとに行っている地域清掃をはじめ、生徒が主体となった活動にも力を入れています。

本校は「地域の方に愛され 地域に育てられる」ことを励みに頑張っています。今後もマナーアップに全力で取り組んでいきます。



マナーアップ運動



地域清掃

< 学校のホームページはこちらです >

<https://natorikita.myswan.ed.jp/>

(3) 角田高校<マナーアップの取組>

本校ではマナーアップに向けて年間をとおして様々な取組を行っています。その中から代表的なものを紹介します。

○薬物乱用非行防止教室

10月19日(水)に角田警察署生活安全課より郡司あゆみ様をお迎えして実施しました。薬物の害について実際の事例等を交えながら学び、非行予防と被害防止に必要な知識を習得すべく、全校生徒に向けて防止教室を行っていただきました。

○交通安全委員会

各クラスに交通安全委員を設定し、マナーの向上に取り組んでいます。定期的に学校近辺の交差点にて登校時の声かけ運動を行っています。

○LHR時の奉仕活動

クラスごとのLHRの時間に奉仕活動を取り入れています。それぞれ実施する時期や内容も含めてクラスで検討し、実施します。学校周辺のゴミ拾いなど地域に貢献すべく各クラスが様々な活動に取り組んでいます。

今後も様々な活動を通して、生徒のマナーアップの向上に取り組むとともに地域社会への働きかけも積極的に行っていきたいと思います。



薬物乱用非行防止教室

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kakuko.myswan.ed.jp>

2 特色ある取組

（1）大河原商業高校〈心の金賞めざして〉

ギター部では、アルトギター、プライムギター、バスギター、コントラバスギター、ギタロンなど、主に高音から低音のそれぞれ特徴のある5種類の合奏用クラシックギターを使って演奏をしています。

大商ギター部では部訓である「心の金賞」を胸に日々練習しています。どんな賞をいただいても自分達が満足する1番の演奏が「心の金賞」につながると考えています。

コンクールに向けた練習では先輩が後輩をサポートし、一人で自信を持って弾けるように、そして弾いている人を感動させる心に響く演奏ができるように技量の向上を図っています。また、後輩が出来ていないところは出来るようになるまで先輩と一緒に考えて指導しています。その結果、全日本ギターコンクールで7年連続の最優秀賞を受賞することができました。

これからも、「心の金賞」を胸にギターの技術だけではなく、人間性も成長していけるように努力していきたいと思います。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

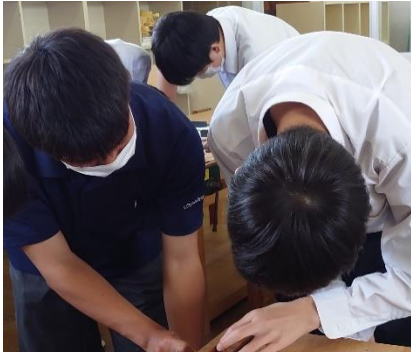
<https://ogs.myswan.ed.jp/>

(2) 伊具高校<特色ある取組紹介>

本校は、農学（農業科）機械（工業科）情報（商業科）福祉（福祉・家庭科）の4系列からなる総合学科です。今回は、機械系列、福祉系列の取組を紹介します。

I 機械系列【地域連携プロジェクト】

機械系列3年次の「総合的な探究の時間」では、地域の小学生や中学生にむけ出前授業を実施しています。今年度は、ドローンを活用したプログラミング授業を小学校2校と中学校1校で実施しました。また、螺子切り体験を中学校1校で実施しました。生徒は、中学生や小学生が理解しやすい授業となるように生徒同士で工夫をしながら授業を行いました。来年度以降も実施する予定です。



II 福祉系列【災害に負けないまちづくり～伊具高家庭クラブ防災プロジェクト～】

令和元年の東日本台風から学んだことは「日頃の備え」と「早めの避難」です。伊具高校家庭クラブでは子どもたちに向けて防災をよびかける紙芝居「いまこそ」を作成し、丸森たんぼぼこども園と館矢間小学校放課後児童クラブで披露しました。今後も地域の幼稚園やこども園、小学校などで発表していきたいと思います。



伊具高校での学びが、地域の皆さんと共に地域に還元されています。皆さんも伊具高校に入学して地域社会を盛り上げてみませんか。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://igu.myswan.ed.jp/>

（3）名取高校〈本校の特色を生かした文化祭〉

今年の文化祭（名高祭）は9月2日(金)に開催されました。今年度は、感染症対策を実施の上、校内発表のみの名高祭となりました。

家政科3年生による「ファッションショー」では、「ファッション造形」を選択している生徒9名がオリジナリティー溢れるドレスを披露しました。参加生徒は、夏休み中も就職活動や進学準備の合間を縫って自らのドレスを製作し、ウォーキングの練習や舞台構成の話し合いを重ねながら、本番に備えました。

多くの生徒が見守る中、中央ランウェイを歩きフィナーレを迎えたその表情は、どの生徒も達成感に満ちあふれていました。自分の理想のドレス製作に数ヶ月をかけ、被服製作の奥の深さを知ることが出来たと感想を話していました。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://natori-h.myswan.ed.jp/>

（４）仙台二華高校＜“世界の水問題の解決”に挑む＞

仙台二華高校には特色ある取組がたくさんありますが、その取組の1つが「グローバルスタディ課題研究」（学校設定教科）です。『世界の水問題の解決』をテーマに生徒が自ら課題を見つけ、2年間（科目の選択によっては3年間）にわたり探究活動を行います。この活動の一環として高校1年次生対象の北上川フィールドワークを9月29日（木）、30日（金）の2日間で実施しました。昨年度は、コロナの感染状況を鑑みて1日のみの日帰り研修となりましたが、今年度は感染対策を万全にとり2年ぶりに2日間で実施する事ができました。岩手県と宮城県にまたがる北上川に関して、その歴史や周辺の地形、自然環境、近隣の自治体が抱える様々な課題などについて、実際に現地へ赴いて学びました。

1日目は、7つのHR（ホームルーム）が3つに分かれ、（1）伊豆沼サンクチュアリセンター、（2）一関市の北上川学習交流館と胆沢平野、（3）東松島市の野蒜海岸、洲崎湿地をそれぞれ訪れ、研修を行いました。2日目は八幡平中腹にある旧松尾鉱山跡地で育樹活動（補植・追肥）を行いました。

この松尾鉱山はかつて東洋一の硫黄産出量を誇った鉱山でしたが、硫化鉄鉱と水（雨水や地下水）、酸素が反応して発生する強酸性水が、閉山となった今でも流出していて大きな問題となっています。そのため、現在大規模な中和施設が設置されていますが、その維持費は年間5億円にも及んでいます。鉱山にはまだまだ大量の硫化鉄鉱が眠っていますが、それと反応する水が地下に流れ込まないように山の保水力を高めるための緑化活動がこの育樹です。10年以上継続しているため、かつての生徒たちが植えた樹木も大きく育っています。当日は天候に恵まれ、近くに岩手山を望みながら、生徒は黙々と作業を行っていました。慣れない作業ではありましたが、全員が充実した達成感あふれる表情で終えることができました。環境保全の規模としては小さいかもしれませんが、継続していくことでいつか環境が蘇ることを期待し、これからもこの活動を続けていきたいと思っています。



＜ 学校のホームページはこちらです ＞

<https://nika.myswan.ed.jp/>

(5) 黒川高校<「ロボット相撲大会」全国大会出場！>

黒川高校には機械科・電子工学科・環境技術科が設置されており、機械や電子部品を扱い機械加工や電子制御などの技術を向上させるための設備や施設がとて充実しています。このような利点を活かして、「ロボット研究部」が例年様々な大会で活躍しています。

10月22日(土)には「ロボット相撲大会」宮城県大会が宮城県工業高校を会場にして行われました。「ロボット相撲大会」は、高校生が技術の基礎基本を確実に習得して技術研究・問題解決に取り組み、制御技術の向上を目標として互いに競い合う大会です。本校からは「ラジコン型」の部に8チームが出場し、他校と対戦しました。操縦者と整備員計2名からなる各チームは工夫して製作したロボットを巧みに操りながら次々と試合を勝ち上がり、結果として県第1位・第2位・第3位を独占する非常にすぐれた成績を収め、上位2チームが見事全国大会への出場権を得ることができました。全国大会は11月に福島県郡山市で行われます。宮城県の代表として他県代表の生徒と堂々と競い合い、全国大会での入賞を果たしてほしいものです。

ロボットの製作や操縦、そして「ものづくり」に興味があり、各学科の専門性を活かしてさらに深く学んでみたいと思う中学生の皆さんは、ぜひ普通科と工業系3学科が併設されている黒川高校への進学を考えてみてください！



< 学校のホームページはこちらです >

<https://kurokawa.myswan.ed.jp>

（6）加美農業高校<加美農祭の紹介>

本校では10月28日（金）と29日（土）に加美農祭を開催しました。3年ぶりに一般に公開し、日頃の学習活動や文化活動、特別活動の発表を行いました。

加美農祭では農業科・農業機械科・生活技術科の日頃の学習成果の展示、文化部の作品展示、吹奏楽部の演奏、クラス対抗のダンスや演劇などのステージ発表がありました。また、生徒が育てたリンゴや野菜、米、花などの農作物やベーコン、ウィンナーなどの畜産加工品などを、地域の方々に販売しました。販売前から長蛇の列ができるほどの大盛況でした。生徒たちの楽しい思い出になるとともに、多くの来場者にも楽しんでいただくことができました。

加美農祭以外にも1年間の収穫物に感謝をする「収穫感謝の会」など、加美農ならではの行事がたくさんあります。みなさんも一緒に加美農での高校生活を楽しんでみませんか。

学校のウェブサイトでは学校行事や学習の様子を公開しています。是非御覧下さい。



ステージ発表



文化部の展示



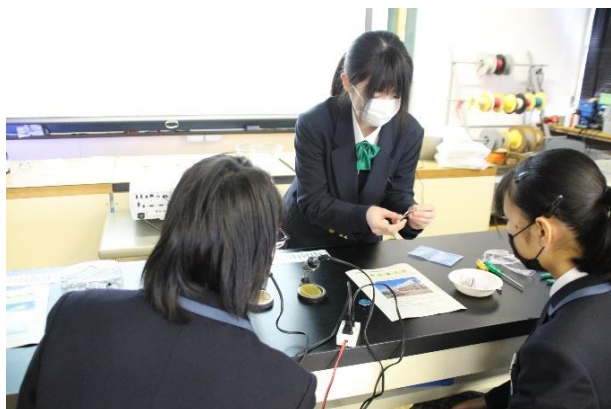
農産物販売の様子

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kamino-h.myswan.ed.jp>

(7) 古川工業高校〈電気電子科 体験学習会〉

電気電子科では、毎年12月に近隣中学校の2年生を対象とした体験学習会を開催しています。今年で5年目となるこの行事は、本校の3年生が中心となり、中学生に電気電子科の魅力を伝えるとともに、実際に電子工作と電気工事の作業を体験してもらうことで、電気の面白さやものづくりの楽しさを知ってもらう貴重な機会となっています。昨年度参加してくれた中学生からは「ずっと興味があった電気電子科についてたくさんを知れてとても良かった」「はんだ付けが楽しかった」「いろいろな工具を知ることができて勉強になった」「電気電子科に入りたと思った」などといった感想をいただきました。工業や電気・電子に少しでも興味を持ってもらえるように今後も継続していきたいと思えます。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://furukk-h.myswan.ed.jp/>

(8) 迫桜高校<迫桜祭>

迫桜祭（文化祭）が10月21日（金）・22日（土）に開催されました。

今年は新型コロナウイルス感染症の行動制限も緩和され、感染対策を講じながら、各家庭1名限定という制限はありましたが、校内発表だけでなく一般公開を行うことができました。

1日目は合唱部・演劇部・吹奏楽部による発表と、クラス対抗パフォーマンスが披露されました。2日目も前日同様、ステージでは文化部3団体の発表に加え、クラス対抗パフォーマンスで5位以内に入賞した3年次5クラスのパフォーマンスも行われ、来場者の皆様に楽しんでいただきました。また、有志団体によるパフォーマンスも行われ、祭を大いに盛り上げました。

校内では文化部各部や各系列、各委員会の展示や体験も行われ、生徒や来場者の皆様はスタンプラリー形式で会場を巡り、迫桜祭を大いに楽しみました。農場入口では収穫されたばかりの新米やサツマイモなどの販売も行われ、来場者の皆様にたくさんお買い上げいただきました。



クラス対抗パフォーマンス

< 学校のホームページはこちらです >

<https://hakuou.myswan.ed.jp/>

(9) 気仙沼高校<海を素材としたグローバルリテラシー育成>

本校は、令和3年度からスーパーグローバルハイスクール（SGH）ネットワーク校として、探究活動や震災・防災を中心とした教科等横断的な学習から、思考力、コミュニケーション力、多様性・協働性・行動力を育成するプログラムを展開しています。先輩後輩との縦のつながりから自分の理想を膨らませ、地域社会との横のつながりから自分の生き方を考え、台湾海外交流や大学教員からの指導等の外とのつながりから多様性に触れる機会を多く設け、社会に開かれた教育課程の開発・実践を行っています。

これからも、探究活動や教科等横断的な学習により、日々の学びに実感を持ちつつ、「飛翔の翼 世界へ！」のスローガンのもと、広いグローバル視野を持った地域社会への貢献意欲が溢れる生徒の成長を支えていきます。



対話で考えを深める生徒たち



探究発表会でのディスカッション

< 学校のホームページはこちらです >

<https://kesenuma-h.myswan.ed.jp>

3 学校紹介

(1) 白石高校七ヶ宿校<「学校紹介」>

仙南唯一の昼間定時制（普通科）高等学校である七ヶ宿校では、現在 36 人が在籍し、多くの生徒が白石駅から七ヶ宿町民バス（所要時間約 40 分）を利用し、自然豊かなダム湖畔を通り、四季折々の風景を楽しみながら通学しています。少人数学校の特性を生かし、国・数・英などの基礎科目は、さらに習熟度別の小グループに分け、ゆっくりとしたペースで、きめ細やかな学習・生活・進路指導を実施しています。学校行事も充実しており、11 月 4 日（金）には七ヶ宿ダム周辺の美しい紅葉を見ながら、ダム湖畔約 7km を歩く強歩大会を実施しました。また、11 月中旬から、地元企業様の御協力のもと、インターンシップを実施し、実地体験をとおして豊かな人間性や地域社会に貢献できる力を育成しています。バス時間の関係で、部活動は実施していませんが、生徒間の懇親や趣味の涵養を目的とした「クラブ活動」を時間割に位置づけて実施しています。七ヶ宿町の給食センターの御協力により、毎日温かい昼食が食べられることも魅力の一つです。七ヶ宿校は、入学を検討している中学生に対して、随時学校見学を受け付けています。興味を持った方はぜひ一度七ヶ宿校においでください。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://sitika.myswan.ed.jp/>

(2) 柴田高校<体育大会・芸術鑑賞会>

9月の柴高祭に続き、10月5日（水）6日（木）に、体育大会を開催しました。5日に運動会種目、6日に球技種目を実施し、2日間にわたりスポーツを楽しみました。普通科は「打倒！体育科」を目指し、体育科はその「力の差を見せつける」ように、白熱した争いが繰り広げられました。競技を通して、生徒の親睦や団結を深めることができました。

10月26日（水）には、芸術鑑賞会が開催されました。今年度はクラシック音楽を鑑賞し、普段イヤホンやスピーカーを介して聞くのとは違った、本物の芸術に触れ、音楽への関心を深めることができました。また、公演の中では実際に楽器を演奏したり、指揮を体験したりすることもでき、楽しみながら音楽に耳を傾けていました。

学校行事の様子は随時ホームページでも更新していきます。

< 学校のホームページはこちらです >

<https://sibata.myswan.ed.jp/>



（3）宮城野高校〈探究発表会〉

宮城野高校は、今年度入学生から、これまでの3学科体制を「総合学科」を除く「普通科」「美術科」の2学科体制に改めています。総合学科を中心に培ってきた探究学習を継承・発展させ、異年次異学科で多角的な視点から未来社会を構想して未来デザイン力を育成する「未来構想ゼミナール」を10月より開講しました。この「未来構想ゼミナール」を柱とし、地域や大学とも連携した学びの実践により生徒の自主性・主体性を育む新たな歩みを始めます。

令和4年8月31日（水）に、3年次総合学科生と、プレゼミナールを行った2年次生の代表生徒による「探究発表会」を実施しました（どちらも「総合的な探究の時間」による探究活動）。他校生（5校・14題・42名）を招待してのポスターセッション（計99題）と、ダンスや歌・演奏などによるミュージカルの2部構成からなる発表会を実施しました。3年次総合学科生の発表は、3年間行ってきた探究活動の集大成となるものです。4名の講師の先生と、宮城教育大学大学院生9名から評価を受け、さらなる探究活動のレベルアップを図るとともに、学校間の連携を強化し、宮城県全体の探究力の向上を図っていきます。



〈 学校のホームページはこちらです 〉

<https://miyagino.myswan.ed.jp/>

(4) 古川高校<【 ビブリオバトルに挑戦 】>

古川高校ではさまざまな委員会が学校行事を運営しています。9月には図書委員会が中心となって、LHRの時間に1・2年生の各クラスで「ビブリオバトル」を実施しました。

ビブリオバトルとは、他の人に薦めたい本を持ち寄って紹介し合い、最後に「一番読みたいと思った本(チャンプ本)」を投票で決めるという書評合戦です。近年大学の推薦入試でも取り入れられ、プレゼンテーション能力を身に付けられる点からも関心が高まりつつあるものです。

当日は図書委員が司会を務めました。図書委員会だけで事前にビブリオバトルを実践していたので、どのクラスもスムーズに進めてられていたようです。

クラスメイトの発表を聞いた感想の中には、「小説が苦手な私でも読んでみたいと思った。」「驚きや発見がたくさんありそう。読むことで視野が広がりそう。」など、次の読書につながりそうなものがたくさんありました。

本を通して友人の普段見られない一面を知る、人を通して本の面白さに気付く。そんな1時間になったようです。

★図書委員の感想より

- ・楽しんでもらえるか不安だったが、委員同士協力して無事できた。さまざまな本が紹介され盛り上がっていた。
- ・委員会で体験した時は(持ち時間が)結構長く感じられたが、純粋に自分の好きな本について話すのは楽しかった。

★チャンプ本の一例 ～ こんな本が選ばれていました ～

『かがみの孤城』 (辻村深月/著 ポプラ社)

『桜のような僕の恋人』 (宇山佳佑/著 集英社)

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 (ブレイディみかこ/著 新潮社)

『海と毒薬』 (遠藤周作 新潮社)



「ビブリオバトル(お薦め本を紹介!)」

< 学校のホームページはこちらです >

<https://furuko.myswan.ed.jp/>

4 コラム

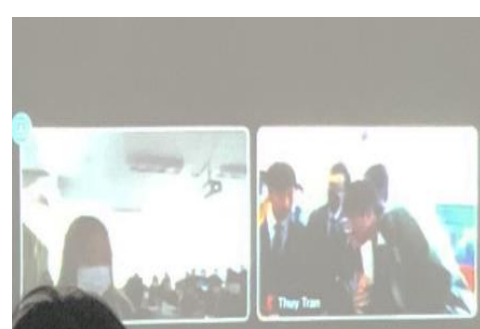
(1) 宮城第一高校<シドニーの高校生との交流>

宮城第一高校国際探究科・理数探究科（1年生）が、英語の授業の一環としてシドニーにある Epping Boys High School の高校生とオンラインで2週に渡り交流しました。

Epping Boys High School（以下 EBHS）は 1957 年に設立されたオーストラリアのニューサウスウェールズ州マースフィールドにある公立の男子高校で、学力もスポーツも優秀な業績を収めています。1 週目は本校生徒が宮城県や本校のプレゼンテーションを英語で行い、2 週目は EBHS の生徒がオーストラリアや自分の学校について日本語でプレゼンテーションを行いました。

EBHS の生徒の流ちょうな日本語に、「なぜ日本語を学ぼうと思ったのですか？」と本校生が尋ねると、「日本のアニメ『鬼滅の刃』を見て影響を受けたからです。」という返答があり、両校に笑いが起き、和やかな雰囲気になりました。日本の文化が海外でも広く認知されているようです。

両校はこれからも不定期ではあるものの、交流を続けていく予定です。さまざまな交流と活動が生まれることを楽しみにしています。



< 学校のホームページはこちらです >

<https://miyaichi.myswan.ed.jp/>

5 お知らせ

(1) 第二工業高校<電気科特別編入制度について>

本校電気科は電気主任技術者の認定校になっており、卒業後、所要の実務経験により第三種電気主任技術者(いわゆる電験三種)の資格を取得できます。

その中で、本校には「電気科特別編入制度」があり、電気科以外の高校を卒業した方が電気科3年に編入し、電気主任技術者や電気工事士などの資格取得を目指すことができます。編入学の理由は、家業を継ぐことになり資格が必要になったためや、会社の仕事で資格が必要になり再度知識や技能を習得しなければならなくなったためなど様々です。一般の生徒たちと一緒に受ける授業や実習もあり、目標に向かって熱心に勉学に励む姿は一般生徒の良き手本になっています。

特別編入試験は毎年3月に実施しますが、資格審査が必要のため2月中旬までに問い合わせをお願いします。詳細は学校ホームページを御覧ください。



特別編入生の実習風景

< 学校のホームページはこちらです >

<https://m2k.myswan.ed.jp>

(2) 美田園高校<学校説明会(令和5年1月15日(日)開催予定)のご案内>

令和5年度一期入学に向けた学校説明会を下記の日程で実施します。通信制の学習の進め方は、全日制・定時制とは全く異なります。入学する前にその通信制のシステムを理解しておくことが学習継続と卒業につながります。進路の選択肢の一つとして美田園高校を考えていらっしゃる方は、ぜひとも学校説明会に御参加ください。



日時： 令和5年1月15日(日)

対象： 本校への入学を希望している方と保護者の皆様、及び中学校・高校の先生方

会場： まなウェルみやぎ 3階 大研修室

諸連絡： ○事前の申し込みが必要です。

詳細は本校HPを御覧ください。

○公共交通機関を御利用願います。(近隣には有料駐車場があります)

< 学校のホームページはこちらです >

<https://mitazono.myswan.ed.jp/>